

神奈川県新エネルギー・省エネルギー学校派遣事業の委託を受けて、川崎市立御幸小学校で、次のとおり環境出前授業を実施したので報告します。

委 託 業 務 名	新エネルギー・省エネルギー学校派遣事業		
実 施 日	平成 23 年 2 月 24 日 (木)、28 日 (月)、3 月 4 日 (金)		
実 施 学 校 名	川崎市立御幸小学校 (川崎市幸区遠藤町 1)		
授 業 テ ー マ	木に触って森、木の働きを知ろう		
対 象 学 年	5 年 生	受 講 児 童 (生 徒) 数	9 0 名
授業実施者人数・氏名	5 名 岡本正義、嶋田和夫、岩村順雄、大野昌美、近藤勝養		
<p>実施した授業の概要</p> <p>●授業実施形態</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 5 年生 3 クラスを 1 日ずつ 3 回に分けて実施した。 2. 2 コマ 90 分授業とした。 3. 前半 45 分は教室の中で座学と実験を、後半 45 分は校庭に出て観察、測定を行う体験授業とした。 <p>●授業プログラム</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに、地球温暖化について、何故温暖化したか？原因は？どうしたら防げるか？を一緒に考える 2. 森の働きについてパンフレットで学習する 3. 森、木が水をきれいにしているのを実験で確かめる ー木のある山と木のない山に雨が降ったらどうなるか？ー 4. 森、木が空気をきれいにしているのを観察、体験する ー木の太さを測って、木が吸収するCO₂量を調べるー ー校庭マップにCO₂吸収分布を描く ー木の幹に聴診器を当てて、木の音（水を吸い上げている音？）を聞くー 5. まとめ ー森、木の働き、役割についてまとめるー ー森、木が地球温暖化防止に役立つことに気付くー ーワークシートにまとめを書き、発表するー <p>●授業実施結果</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今回の実験、観察、体験の内容は、児童にとっては初めての経験であり、大きな驚きであり、非常に印象深い授業であったようである。 2. 3 日間のうち 1 日は雨であったが、それほどの雨でもなかったので傘をさしながら実施した。チョット寒かった。 3. 授業の目的は、地球温暖化防止のために木を大切にすることに気付いてもらうことであった。この目的は 2 クラスは十分に達成できたが、1 クラスはもう一歩という感じであった。 4. 授業は児童の反応も良く、質疑応答も良く出来、時間通りにピッタリと終わった。ほぼ期待通りの授業が出来たと思う。 5. 授業終了後は、児童と一緒に給食を食べ、コミュニケーションを深めた。 			



空気の中にある二酸化炭素を減らすには、どうしたら良いだろうか？自動車と工場と木のある画を見て、気が付いたことを発表してもらった。
二酸化炭素を出さないようにすることと出た二酸化炭素を吸収することに気が付いた。



校庭へ出て木の太さを巻き尺で測った。
6班が分担して、校庭の木を測った。
太い木は高さが1.2mの所を、細い木は根元を所を測った。
その後、聴診器で木の音を聞いた。



学校の地図に各班が測り、計算した二酸化炭素の吸収量を緑のマークを貼って表した。
たくさん二酸化炭素を吸収する所と少ししか吸収しない所があった。



木や葉っぱの無い山に雨が降るとどうなるか？流れ出る水は泥水になる。土砂災害の状況が良く分かる。



木に聴診器を当てて音を聞いている。スースーとか、ポーとか、どくどくと言う音が聞こえたと言う児童もいた。



まとめと振り返りを行っている。今日、勉強したことで分かったことや感想を書いている。皆、楽しそうに書いていた。森林と地球温暖化の関係が良く分かってくれたようです。